

2024年5月5日 復活節第六主日礼拝説教
「愛は何処から来るのか」(ヨハネ15章9～17節)

○ I ヨハネ5章1節のみことば

「イエスがメシアであると信じる人は皆、神から生まれた者です。」
救い主イエスを信じる〈わたしたち〉も、神から新たな命を受け、命の行く先が、神の赦しに向かう者へと変えられた。
☞あなたも生まれ変わって、神と共にある命に生きている。

「生んでくださった方を愛する人は皆、その方から生まれた者をも愛します。」
わたしたちが、だれよりも先ず、赦し、受け入れるべき者は神が独り子を献げてまでも愛された〈あなた〉ではないか。

※「あなたは、もう生まれ変わった」と伝え合う交わりへ

今日のみことば：ヨハネ15章12節

「わたしがあなたがたを^{あい}愛したように、互いに^{たが}愛し合^{あい}い^あなさい。これがわたしの^{おきて}掟である。」

問：キリストが望まれる愛とは、いったい何なのか？

「あなたがたの喜びが満たされるためである。」(11節)

☆神の子イエスが語る「互いに愛せよ」との〈みことば〉がわたしたちの喜びではなく、重荷になっていないか。

「友のために自分の命を捨てること、これ以上に大きな愛はない。」(13節)

☞キリストは、多くの苦しみを受け、命がけで「わたしはあなたの救いである」との〈みことば〉を形に現わして、その命を十字架の上で〈あなた〉のためにも捨てられた。

「(十字架につけられた) イエスは言われた。『父よ、彼らをお赦してください。自分が何をしているのか知らないのです。』」(ルカ23章34節)

※絶えず十字架を仰ぎ見て「わたしも、あなたも赦されているので、神の憐れみはある」と互いに励まし合おう。